JLC発足40周年記念の集い

「JLC～画像でみる40年の歩み～」

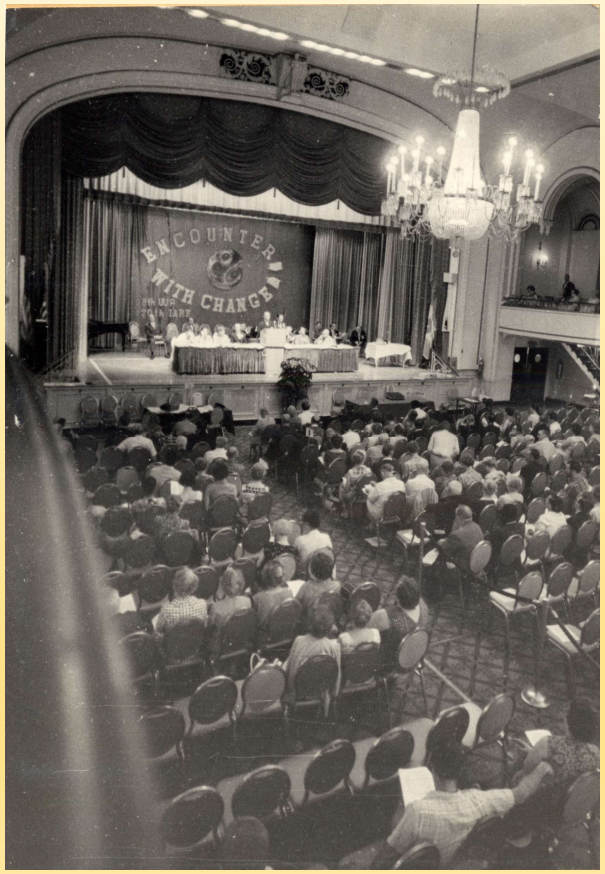
Episode 0

東京大会へのマイルストーン

1969年～1981年　ＩＡＲＦ日本へのひろがり

1969年　第20回世界大会（ボストン）

「国際自由宗教連盟（International Association for Religious Freedom）」としてのはじまり



立正佼成会・金光教泉尾教会等が新たに加盟したことにより、それまでの「自由キリスト教および自由宗教の国際連盟」という名称から、現行の「国際自由宗教連盟」へと変更された画期的な大会。

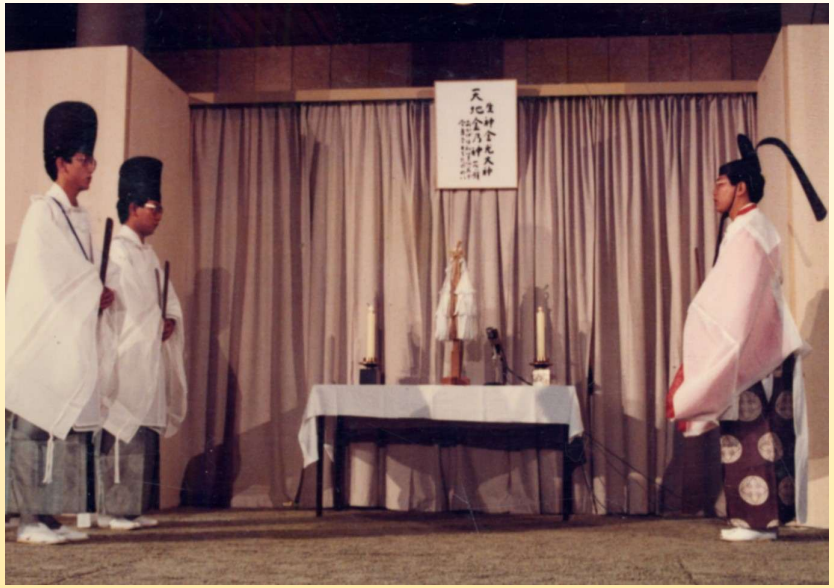
当時のUUA初代会長のD.M.グリーリー博士によって紹介される庭野日敬立正佼成会会長、
三宅歳雄金光教泉尾教会長、中山理々日本仏教鑽仰会会長の各師。
この際の人間関係が翌1970年のWCRP(世界宗教者平和会議)創設に繋がった。

1981年　第24回世界大会（ライデン）

庭野日敬師がアジア人初のIARF会長に選出
一燈園が加盟

開会式で挨拶される庭野日敬立正佼成会会長

参加者の集合写真



欧州で初めて「金光教の祈り」を行う
三宅光雄師(現金光教泉尾教会長)

総会でスピーチを行う
三宅歳雄金光教泉尾教会長

Episode 1

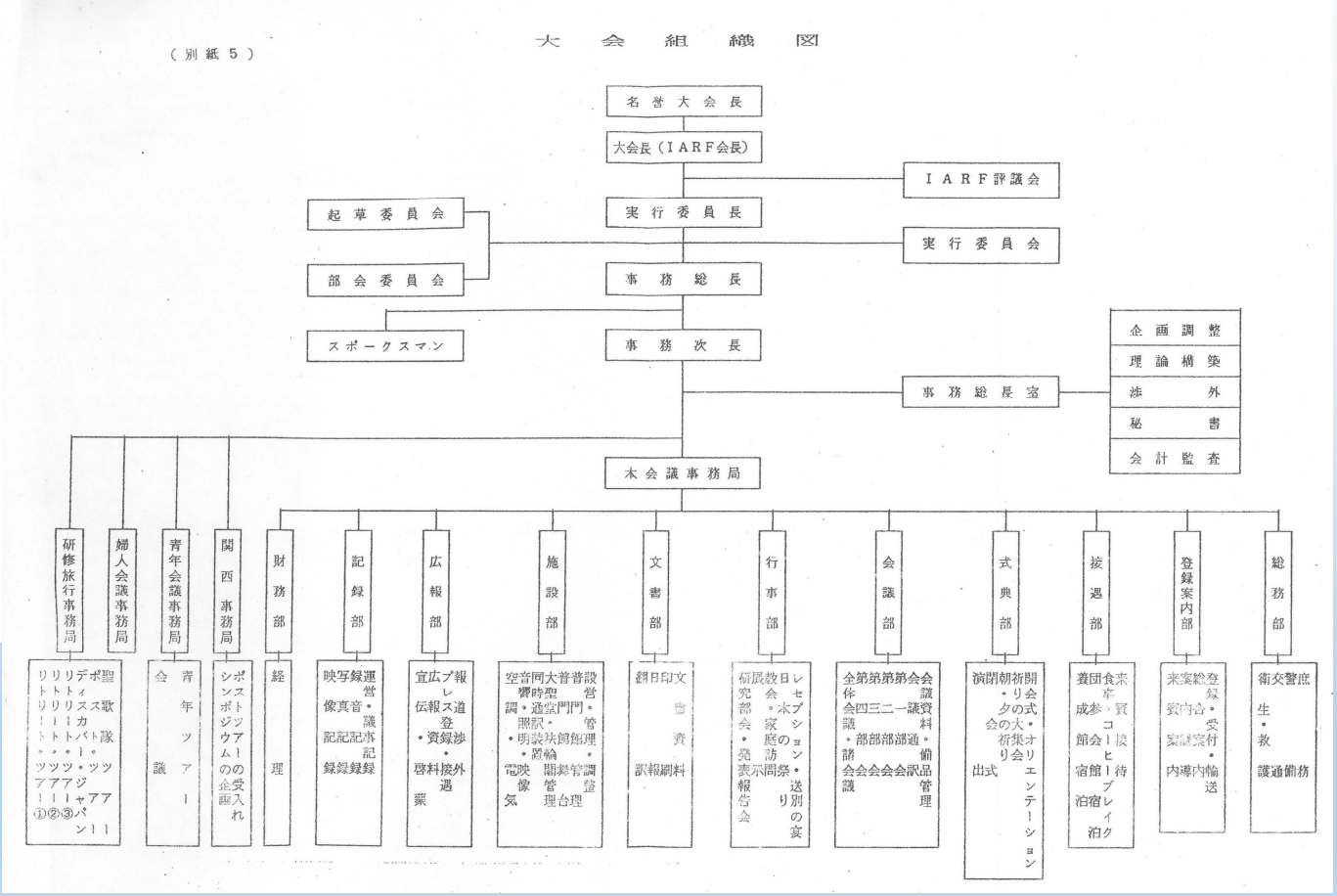
1984年　第25回東京大会

アジアで初めてのIARF世界大会の成功に向けて～JLCの誕生

世界大会に向けて実行委員会を組織

15．実行委員会

名誉大会長	今　岡　信一良（日本自由宗教連盟）
大　会　長	庭　野　日　敬（立正佼成会）
相　談　役	三　宅　歳　雄（金光教）
	長　沼　基　之（立正佼成会）
	坂　田　安　儀（WCRP）
委　員　長	山　本　行　隆（椿大神社）
副実行委員長	新　井　　智　（日本自由宗教連盟）
	西　田　　武　（一燈園）
	中　垣　文　頌（岩戸神社）
事務総長	ディーター・ゲアマン（IARF事務総長）
事　務　局	〒166 東京都杉並区和田 2-6　普門館内
	電話　03-380-5185　（直通）
	03-383-1111 内線 452



（写真）実行委員メンバー：三宅美智雄師、相大二郎氏

東京大会に先立ち多様な事前プログラムが開催された

青年会議

7月23日～26日　東海荘・研修センター
メインテーマ「光と海と未来」
サブテーマ「友愛は世界をどのように変えるか」

婦人会議

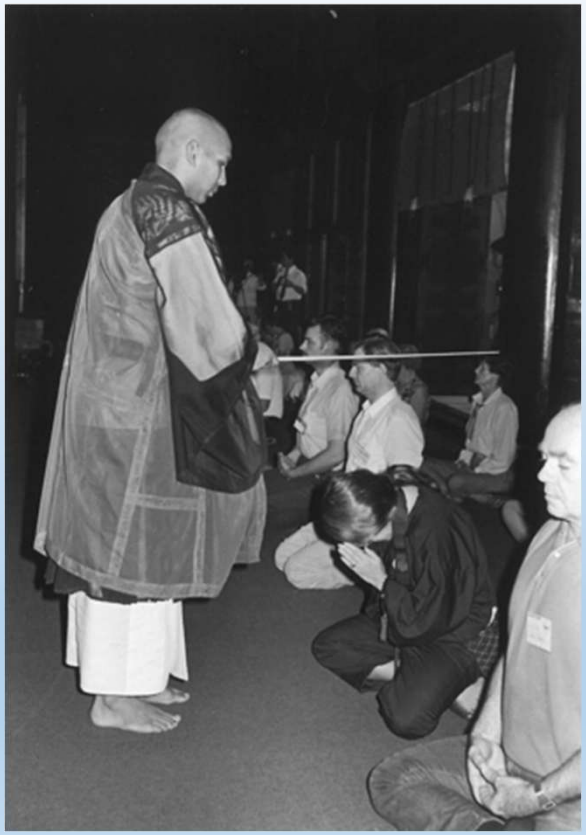
7月23日～26日　大磯アカデミーハウスにて
テーマ：精神的文化的生活の根源

プレコングレス（宗教体験）

椿大神社　7月23日～26日

プレコングレス（宗教体験）

比叡山延暦寺　7月23日～26日

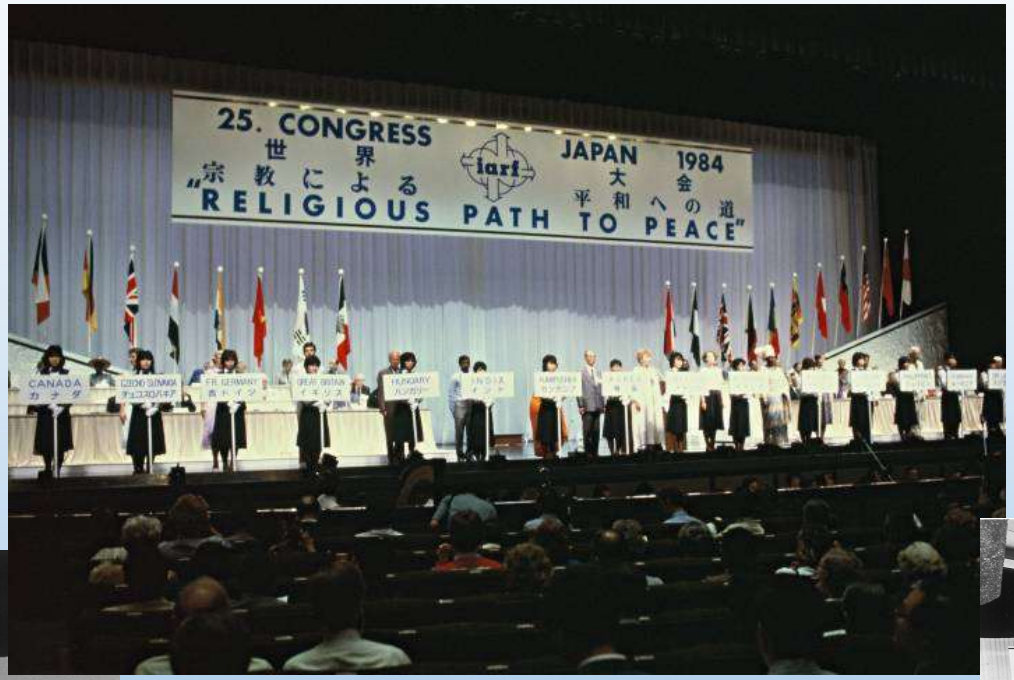


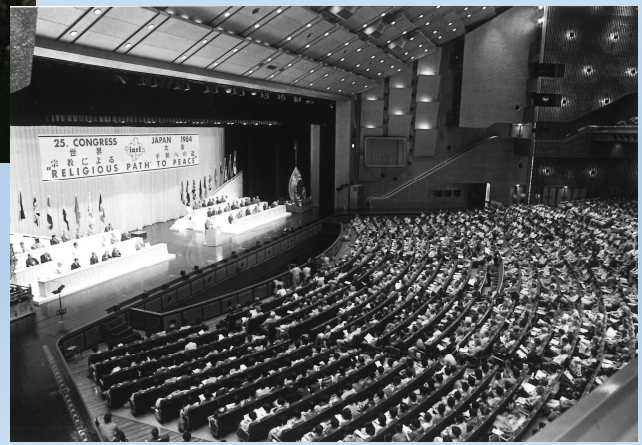
プレコングレス（宗教体験）
一燈園（7月23日～26日）

相大二郎さん、
伊佐山絢子さんによる
園内の案内

山科の町に出て行願
（トイレ掃除奉仕）の
体験をされる海外から
の参加者たち

1984年7月27日　普門館を会場に第25回IARF世界大会が開幕
テーマは「宗教による平和への道：東洋の提唱ー西洋の応答」





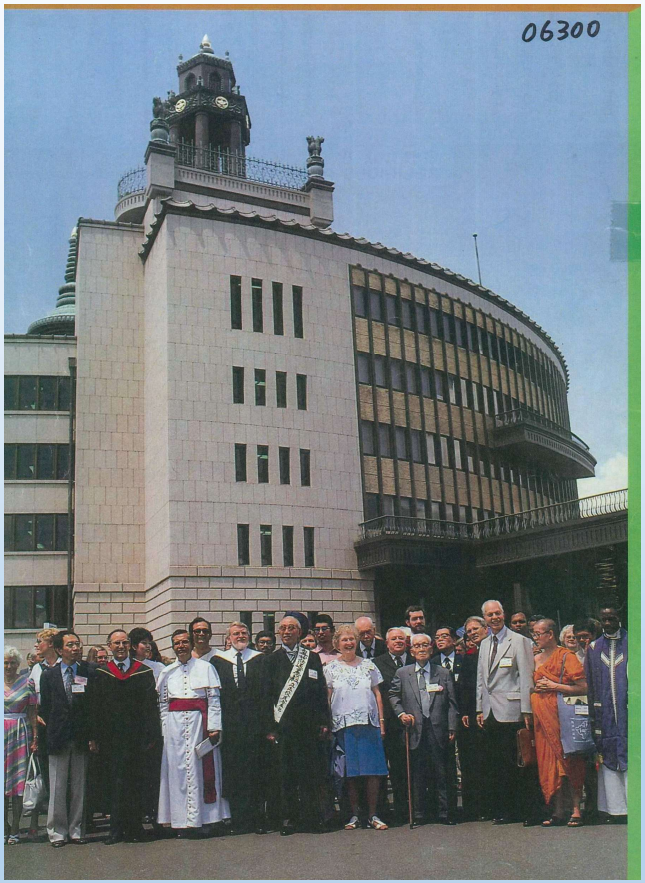
（別紙３）

ＩＡＲＦ日本大会・本会議日程表

S.59.2.27現在

7月26日（木）			7月27日（金）			7月28日（土）			7月29日（日）			7月30日（月）			7月31日（火）			8月1日（水）		
						8：45 9：00	祈り：神道	法大				8：45 9：00	祈り：ヒンズー教	法大	8：45 9：00	祈り：シーク教	法大	8：45 9：00	祈り：仏教	法大
	各事前プログラムより移動 ～帰京		9：30	登録		9：15 9：45	御命日参拝 （自由参加）	聖				9：15 9：45	朝の全体会議	法大	9：15 9：45	朝の全体会議	法大	9：15 9：45	朝の全体会議	法大
12：00	ホテル・ チェックイン		11：30 12：30	昼食	聖・食	10：00 12：00	部会討議１ （論点１）	四会場	10：00 12：00	祈りの大集会 （コングレスサービス） 講話	聖・4階	10：00 12：00	部会討議３ （論点２）	四会場	10：00 12：00	部会討議５ （論点３）	四会場	10：00 12：00	全体会議	法・大
										記念撮影										
						12：30 14：00	昼食	聖・食	12：30 14：00	昼食	聖・食	12：30 14：00	昼食	聖・食	12：30 14：00	昼食	聖・食	12：30 14：00	昼食	聖・食
14：00	教会訪問 （希望者のみ） 集合場所 ・ニューシティホテル ・団参会館		13：00 15：30	開会式 （基調講演）	普・大ホール	14：15 15：45	部会討議２ （分団討議）	20会場	14：30	家庭訪問 集合場所 ・大聖堂 ４Ｆホール		14：15 15：45	部会討議４ （分団または継続）	4 or 20会場	14：15 15：45	部会討議６ （総合・まとめ）	四会場	14：15 15：45	閉会式	普大ホール
							コーヒー・ブレイク						コーヒー・ブレイク			コーヒー・ブレイク				
18：00			16：00 17：00	参加者に対する大会オリエンテーション	普・大	16：15 17：45	講演 ①② （①：……②：……）	法・大				16：15 17：45	ワークショップ …… 予備総会 …… 部会委員会	…… 法 …… 4	16：15 17：45	ワークショップ …… 総会 …… 部会委員会	…… 法 …… 4	17：00 19：00	送別の宴	法輪閣大ホール
15：00 18：00	部会委員会 …… 起草委員会	四会場 …… 法一	17：30 19：30	レセプション	聖・食	18：00 19：00	夕食	聖・食	18：00			18：00 19：00	夕食	聖・食	18：00 19：00	夕食	聖・食			
						19：15 20：15	発表・報告会１ （プレゼンテーション）	法・大	19：00 21：00	日本の祭り	法輪閣前駐車場	19：15 20：15	発表・報告会２ …… 起草委員会 （公開）	法大 …… 法一	19：15 20：15	発表・報告会３ …… 起草委員会	法大 …… 法一			
						20：30 21：00	祈り：ヨーロッパ・キリスト教	法大				20：30 21：00	祈り：アメリカ・ユニテリアン	法大	20：30 21：00	祈り：フィリピン・キリスト教	法大			
							親睦の時間	団参					親睦の時間	団参		親睦の時間	団参			

1. 部会会場：法輪閣大ホール・普門館地下会議室・普門館大会議室・大聖ホール
2. プログラム、進行時間などについては多少変更される場合がある。



祈りの集会（集合写真）

総会・分科会

家庭訪問

日本の祭り（盆踊り）を楽しむ参加者たち

書道体験

神道の装束体験

会期中には、日本の文化を紹介する交流プログラムや
ワークショップも開催された

ポストコングレスツアー：金光教泉尾教会での大阪シンポジウム

立正佼成会呉教会での交流会

ポストコングレスツアー
広島へ

広島原爆資料館の見学

広島にて　原爆の犠牲者に慰霊の花を手向ける

東京大会の報道記事

左：Mainichi Daily News
右：The Japan Times

Mainichi Daily News
Dedicated To International Understanding
Sunday, August 5, 1984

IARF Decries World Turmoil

Active discussions highlighted the 25th IARF (International Association for Religious Freedom) Osaka Symposium, held in Osaka Saturday, with the participation of about 100 foreigners and 50 Japanese, under the theme "Coexistence and Coprosperity."

Among the topics taken up at the meet which was in session from 2 to 5 p.m. at the Konko-Kyo Church of Izuo in Taishoku, Osaka, were poverty, hunger and disease among the world's refugees as well as the turmoil jeopardizing peace in societies where there are not only injustices, exploitation, decadence and discrimination, but also oppression of human rights derived from the conflicts and confusion caused by force of arms.

The participants focused discussions on the situation in South Africa, taking a serious view of the fact that many people there are living under constant threat.

The symposium held at the Konko-kyo Church of I Osaka.

They also expressed opinions on how to live for the 21st century, and recognized the "importance that each human being is a member of the community of destiny on earth."

It was then stressed that all human beings are brothers and sisters, "a oneness of humanity." From this standpoint, discarding selfishness and self-centeredness and adopting mutual cooperation base religious prayer were st urged.

It was also urged that play a greater role of t bridge between the East West so that the world permitted to survive t coexistence and coprospe

The symposium was fo by a reception at the ch the evening.

四日に大阪国宗がシンポジウム開催

大阪国際宗教同志会（大阪市大正区三軒家西二、金光教泉尾教会内、三宅忠磯理事長）では、八月四日午後一時半から、国際自由宗教連盟（IARF）大阪シンポジウムを開催する。

全光教泉尾教会でのIARF大阪シンポジウム

国際自由宗教連盟・日本大会

東京 大阪 草の根対話交流

昭59.1 宗教新聞

大阪ではシンポに二百人

全光教泉尾教会で

◎大阪宣言◎

昭和59年8月8日 水曜日

文化時報

文化時報社

アジアで初の大会開く

新会長にロイ・スミス氏

人類の恒久平和へ真摯な討論

薗野前会長

スミス新会長

IARF（国際自由宗教連盟）の第一二五回世界大会が東京杉並の立正佼成会を場として去月十七日から八月一日まで開催された。同大会のテーマは「初めてやる大会は、宗教による平和への道」東京「不可欠な宗教的力」を骨子として宣言文を採択され、また任期満了に伴う役員選挙が行われ、薗野自由宗教連盟会長に代って、ロイ・エス・スミス新会長が選出された。新会長に対しては、「世界の恒久平和とスポーツ」があげられ、各次代の理事会に各分科会とも人類の恒久平和とスポーツを携えて共同作業を開始しようとなった。

IARF第二十五回大会の代表、約八百名が参加し、去月二十七日、世界各国で立正佼成会の世界館で開催は去月二十七日、世界各国で立正佼成会の世界館で開催された。

開会式では平和への祈り、各宗教平和のオンデーバー、手、外務省代表の挨拶があり、続いてIARF会長が「東は東、西は西」といった対立の時代は、東は東、南と北に分かれて対立し、憎悪と貧困などさまざまな問題をかかえている。思いやりとやさしさを愛、を今大会でとりもちたいことを念願していると挨拶。

またユージン・ゲットナリス、マネメッハ、仏蛇の思想に立ちかえり、人々の心のなかに失われている、思いやりとやさしさを持える絶滅寸前の状態にある。安心を与える絶滅寸前の状態にある。安心を与える絶滅寸前の状態にある。安心を与えるものは科学の進歩とは逆に増大する傾向にあり、安心を与えるものは科学の進歩とは逆に増大する傾向にあり、安心を与えるものは科学の進歩とは逆に増大する傾向にあり、

ＪＬＣの誕生

昭和59年12月19日　JEC（日本大会実行委員）の最終会議が開催。以降のIARFの日本での活動は「IARF日本連絡会議（Japan Liaison Committee）」を通して展開することが決定された

最終ＪＥＣ会議

日本大会実行委員が日本連絡会議に移行される

昭和五十九年十二月十九日、立正佼成会本部法輪閣において最終ＪＥＣの会議が開催された。このＪＥＣ（日本大会実行委員会）は、昨年七月から八月にかけて東京にて開催された第二十五回ＩＡＲＦ日本大会の準備、実施の為に昭和五十八年七月に設定されたものである。約十数日に亘って開催された会合では、大会を成功に導くため白熱した議論が毎回展開され、又事務総長ゲアマン師も数回に亘り出席するなど、多くの思い出を残して今回の最終会合に至ったものである。

大会も一応の成功を納め、なごやかな雰囲気の中で、大会経理報告、記録集・記録映画の完成報告がなされた後、今後の日本におけるＩＡＲＦの活動について審議された。その結果、今後は「ＩＡＲＦ日本連絡会議」を通して、活動を展開することが決定された。

同連絡会議は、日本地域会議親睦会・研究会等の開催、内外宗教者との交流、加盟教団、個人会員との連絡および事務管理などをその活動の内容とするものである。昭和六十年度の同連絡会議事務局は、椿大神社東京購本部が担当することとなった。

ＩＡＲＦ日本連絡会議

名　称＝ＩＡＲＦ日本連絡会議

目　的＝ＩＡＲＦ加盟教団・個人会員及び広く宗教者間の相互理解交流・協力の促進を目指す。

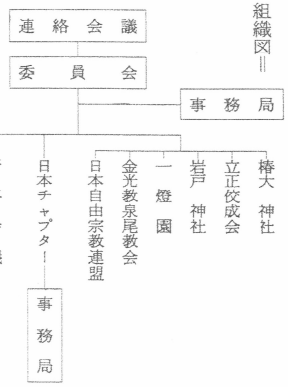
活　動＝①親睦会・研究会等の開催
②内外宗教者との交流
③加盟教団・個人会員の連絡及び事務管理

委員会＝加盟教団、チャプター、青年会議、婦人会議からの代表者若干名をもって構成する。
開催は随時。

予　算＝随時分担金を拠出する。

事務局＝加盟教団が一年毎に輪番する。
昭和60年度は椿大神社が担当する。

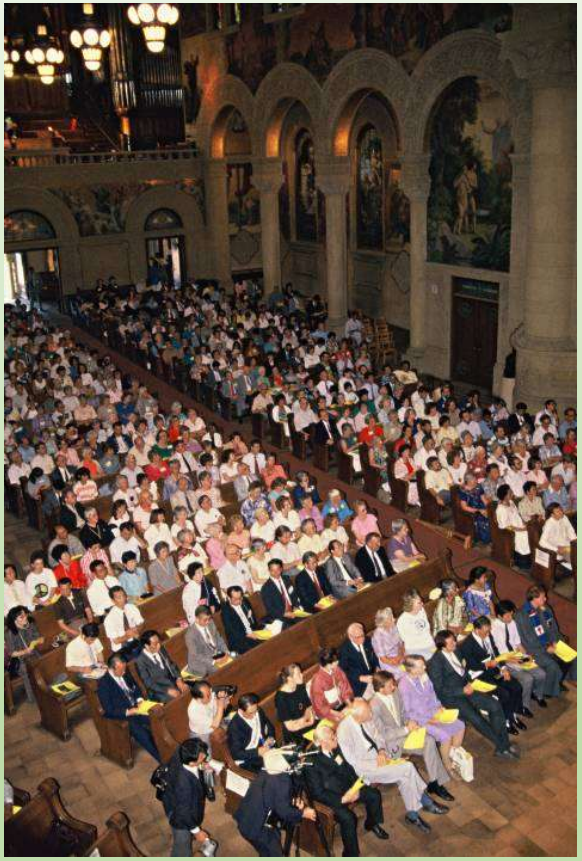
組織図＝



Episode 2

JLCが参加した世界大会・関連国際会議

1987年 第26回スタンフォード大会
「21世紀に向かう世界の諸宗教」

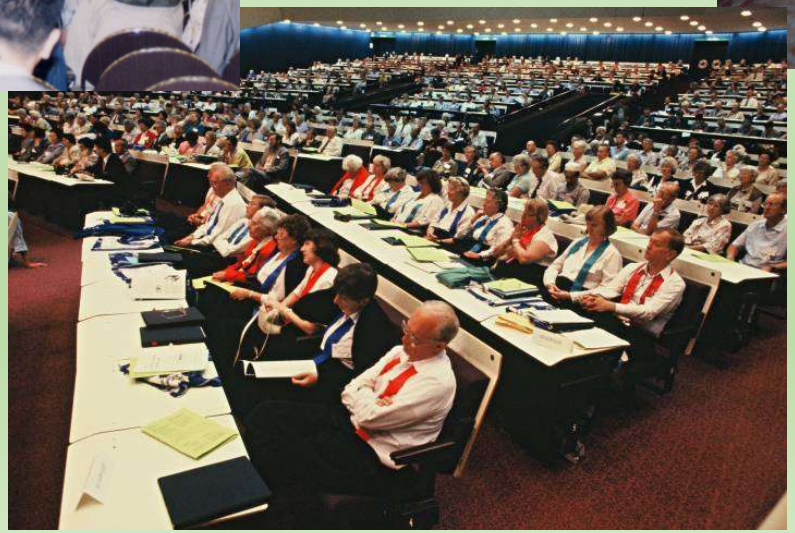


← ↑スタンフォード大学のメモリアルホールの講堂で開催された開会式では、詩人で黒人女性活動家のマヤ・アンジェロー女史が基調講演を行った。

リチャード・ボーキー博士が牧師を務めるバークレー・ユニテリアン第一教会で行われた合同礼拝↓

1990年　第27回ハンブルグ大会
「ひとつの世界建設に向かって協力する諸宗教」

諸宗教の祈り

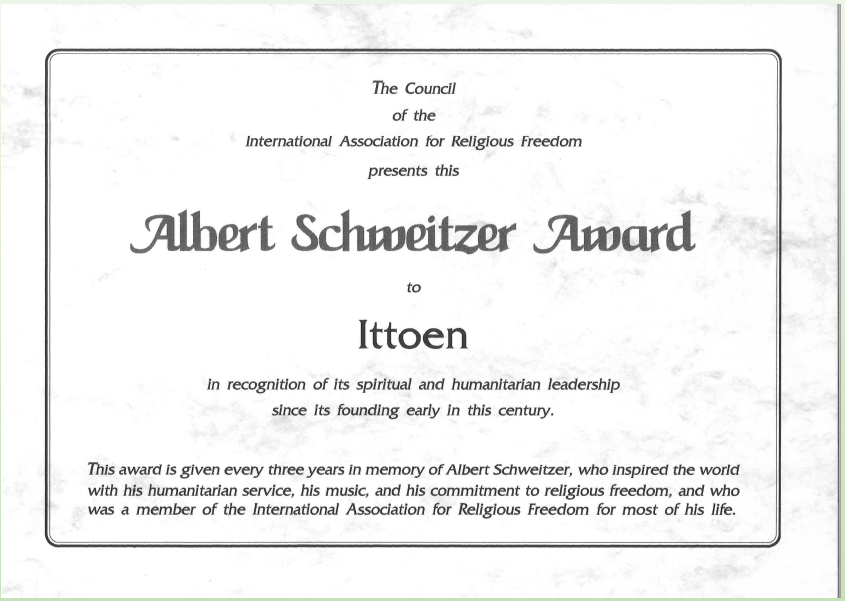


1993年　第28回バンガロール大会
「信仰に生きる：平和と正義のための共働き」

↑ロイチャウドハリ会長、
ナタリー・ガルブランセン
副会長らと共に

↑大会参加者による平和大行進

←大会バナーの前で



The Council
of the
International Association for Religious Freedom
presents this

Albert Schweitzer Award

to

Ittoen

in recognition of its spiritual and humanitarian leadership
since its founding early in this century.

This award is given every three years in memory of Albert Schweitzer, who inspired the world with his humanitarian service, his music, and his commitment to religious freedom, and who was a member of the International Association for Religious Freedom for most of his life.

バンガロール大会で一燈園はアルバート・シュバイツァ賞を受賞。
それを記念し、バンガロール駅のトイレで行願（清掃奉仕）を行った。

IARF世界大会に引き続き、バンガロールで万国宗教会議百周年記念大会が開催された。

万国宗教会議100周年を記念し、同年9月、日本の伊勢でも記念大会が開催された。

式年遷宮のお白石持行事に参加する参加者たち

会議後に訪問された一燈園でもクランプ牧師に講演いただいた（通訳：猪熊氏）

1996年　第29回韓国（イクサン）大会

「責任ー協力ー霊性：私たち宗教者の自らへの挑戦」

この大会で椿大神社山本行隆宮司が
IARF会長に就任される

1999年　第30回バンクーバー大会
「地球共同体の創造：宗教者の使命」

開会式
（山本行隆会長挨拶）

諸宗教の祈り

2002年　第31回ブダペスト大会
「宗教的自由：ヨーロッパの軌跡」

日本文化プログラム→
（佼成会箏曲部の演奏）

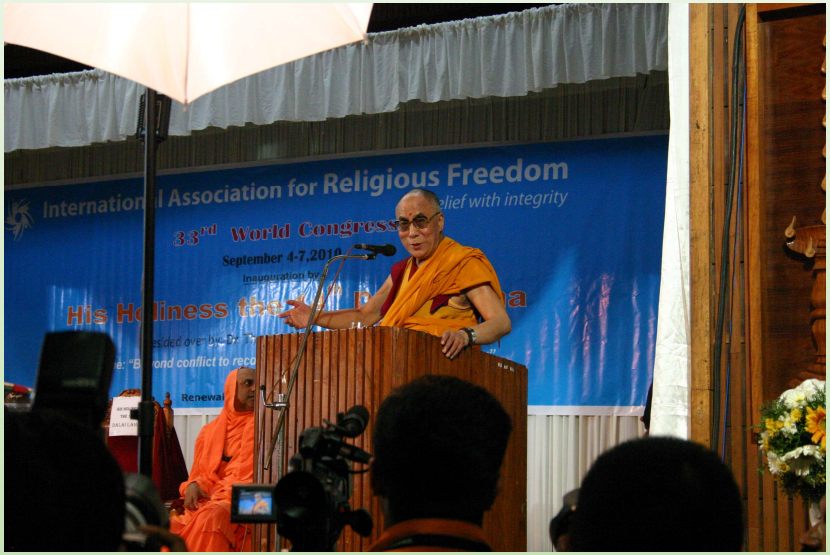
2006年　第32回台湾（高雄）大会
「多様性における尊厳」

開会式

2010年　第33回インド（コーチ）大会

「対立を超えて和解へ－21世紀への挑戦」

開会式
ダライラマ14世法王の基調講演　→
↓開会式に出席する参加者たち



サークルグループ↓

この大会でむつみ会がIARFに加盟

一燈園より持参した「ガンジーのチャルカ」でダライ・ラマ14世法王に糸を紡いでもらう。
ダライ・ラマ法王から始まった1本の糸を、一般参加者にも少しずつ紡いでもらい、大会4日間で139名、長さは約80mとなった。

IARF会長がトーマス・マシュー氏から
金光教泉尾教会長・三宅光雄師へ。
「会長のハンマー」が引き継がれた。

2014年　第34回英国（バーミンガム）大会

「デジタル時代における信教の自由の挑戦」

開会式

総会

松井ケティ氏の講演

IALRW

RFYN

諸宗教の祈り

国際評議員会

総会での投票風景

この大会で会長に選ばれた
ダイクストラ氏に三宅光雄師が
「ハンマー」を引き継ぐ

2018年　第35回米国（ワシントンD.C.）大会

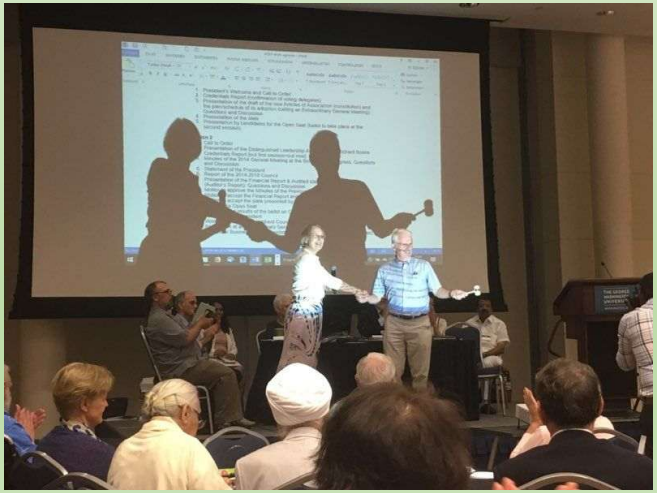
「諸宗教対話の再構想」

シダーレーン教会（A.ジャナマンチ師が牧師を務める教会）にて

大会開会式

←JLC合同での「諸宗教の祈り」
朝の公園でのリハーサル風景↓

↓ 本会議の様子 ↑

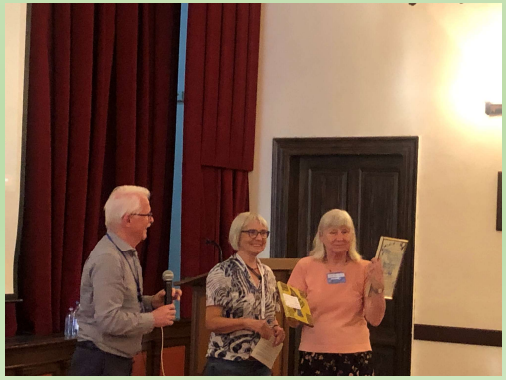


ホワイトハウス前の公園から平和の行進

2023年　第36回ルーマニア（クルージュ・ナポカ）大会

「和解に向けた信仰者の役割」

↑ハイブリッドで開催された総会



開会式（諸宗教の祈り）

↑日本チャプター青年の発表

日本チャプター芝師とウィリアムズ会長

ウクライナ支援パネルディスカッション後の記念撮影

Episode 3

JLC国内の活動

アイヌの歴史と文化を学ぶフィールドワーク

2001年8月28日～30日

佐藤幸雄北海道ウタリ協会事務局次長の講演に
耳を傾けるJLC一行

平取町立二風谷アイヌ博物館に展示されているアイヌと
神道との繋がりを連想させる祭祀用具

白老アイヌ民族博物館で見学した
伝統的なアイヌの踊り

JLC会議200回記念シンポジウム
『ボーダーをなくそう～日本における難民の実情を通して～』

2016年10月9日　於：一燈園

東北（遠野を中心に）の伝承、民俗信仰を学ぶフィールドワーク

2017年10月31日～11月1日

西来院の本堂で「供養絵額」を視察

遠野・伝承園のオシラ堂

“座敷童のいる旅館”の前で記念撮影

新型コロナ流行1年目となる2020年には、初めてのオンライン学習会を開催

IARF 日本連絡協議会（JLC）
The International Association for Religious Freedom
Japan Liaison Committee

第２回 JLC オンライン学習会

表現の不自由：日本社会における新しい宗教の置かれた可哀想な位置づけ

開催日時：2021 年９月 13 日（月） 15:00～17:00

開催方法：Zoom ウェビナーによる

モデレーター

本山（もとやま） 一博（かずひろ） 師

１９６２年生まれ。筑波大学卒業。玉光神社宮司。ＩＡＲＰ（国際宗教・超心理学会）会長、新日本宗教　団体連合会理事、日本宗教ネットワーク懇談会座長。著書に『地球社会の新しいビジョン』、『宗教間対話のフロンティア―壁・災禍・平和』（共編、国書刊行会）他。

講 師

武藤（むとう） 亮飛（あきひ）氏

ディスカッサント

三宅（みやけ） 善信（よしのぶ） 師

１９５８年、大阪府生まれ。１９８３年、同志社大学大学院神学研究科　博士前期課程修了。ハーバード大学世界宗教研究所研究員、Ｇ８宗教指導者サミット事務局長等を歴任。現在、神道国際学会理事長、関西国連協会理事長、金光教春日丘教会長、（株）　レルネット代表、ＩＡＲＦ国際財務理事等を兼務。著作：『風邪見鶏：人類はいかに伝染病と向き合ってきたか』他多数。

翌2021年にもオンライン学習会が開催された。

2024年10月29日
「JLC発足40周年記念の集い」開催

… and moving forward.